

調査地区の写真



信信信1 与板橋 右岸 3.0~6.0km (下流から上流を望む)

本調査地区は与板橋周辺に位置しており、自然な中州が残っている。

調査地区の写真



信信信2 蔵王橋 左岸 13.0~16.0km (下流から上流を望む)

本調査地区は蔵王橋周辺に位置しており、植生が豊かで鳥類相が多様である。

調査地区の写真



☆信信信3 大手大橋 左岸 16.0~19.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は大手大橋周辺に位置しており、堤内地は市街地のため、都市的な様相を呈している。

調査地区の写真



信信信4 越路橋 右岸 23.0~26.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は越路橋周辺に位置しており、植生が豊かで鳥類相が多様である。

調査地区の写真



信信信5 小千谷大橋 左岸 30.0~33.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は小千谷大橋周辺に位置しており、堰周辺部で護岸化され、人為的要素が強い。

調査地区の写真



信信信6 牛ヶ島 左岸 39.0~42.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は狭窄部で急流となっており、河川沿いのアクセスが難しい地点である。

調査地区の写真



信信信7 栄橋 左岸 56.0~59.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は栄橋周辺に位置しており、人為的な裸地が広がっている。

調査地区の写真



信信信8 南鏡坂 左岸 67.0~70.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は信濃川中流域最上流部の地点で草地や樹林地が河川敷に広がる。

調査地区の写真



信大信1 白岩 右岸 9.0km (河口より上流を望む)

本調査地区は分水路の河口部で、海辺の鳥類も多く飛来する。

調査地区の写真



☆信大信2 国上 右岸 4.0~7.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は、堤内は山地で森林性の鳥類も飛来することがある。

調査地区の写真



信大信3 大河津 右岸 -1.5~1.5km (下流より上流を望む)

本調査地区は分水地点で護岸化されており、河川敷は鳥類相が貧弱だが、河川内は水鳥が多く飛来する。

調査地区の写真



信魚信1 下島 左岸 5.0~8.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は水深の深くなっている地点で、水鳥は少なく、河川敷も植生は貧弱である。

調査地区の写真



信魚信2 青島 左岸 15.0~18.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は市街地に近いが、河川敷の植生が豊かで、流れが入り組んでいるので、鳥類相が比較的豊かである。

調査地区の写真



☆信魚信3 大和橋 右岸 23.0~26.0km (下流より上流を望む)

本調査地区は大和橋周辺に位置しており、流れが入り組んでいて鳥類相が比較的豊かである。

調査地区の写真



集団1 町軽井 左岸 0.0km (下流より上流を望む)

周辺は田園地帯で、河川敷にはヨシが群生し、水際部にはヤナギ類が密生する。

調査地区の写真



集団2 妙見堰 左岸 30.0km (下流より上流を望む)

堰下流の左岸側の水際部にはヤナギ類が密生する。